

2013年1月31日

(お知らせ)

自動膨脹式救命胴衣の交換部品 無償交換について

東洋ゴム工業株式会社(社長:中倉健二)は、2003年6月から2003年11月まで製造した作業用救命衣および小型船舶用救命胴衣(膨脹式)(以下、総称して「胴衣」)において、その膨脹装置の部品(呼称:マガジン)に不具合が見つかり、2006年7月より自主的に広く回収を呼びかけ、対策品(対策マガジン)への無償交換を継続しています。

昨今、安全啓発活動等により、船舶使用時に救命胴衣を確実に着用される傾向にあり、また、東日本大震災以降、避難具として常備される方も増加傾向にあることから、改めて周知を図り、未交換のお客様に確認・交換のご案内を行なうものです。

お客様、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。何とぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 不具合の内容

胴衣本体には自動膨脹装置が組み込まれており、落水した場合、膨脹装置内部に水が浸入することで装置が作動し、自動的にポンベから炭酸ガスが胴衣本体に流入し、胴衣を膨らませる機構になっています。

今回の不具合は、特定期間に製造した自動膨脹装置の内部にセットされているマガジンにおいて、水を検知して正常に作動するまでの時間が、本来より極端に多くかかる可能性があるというものです。

落水時に胴衣が自動膨脹しない場合、手で膨脹させることは可能ですが、万が一に備え、不具合マガジンを回収し、対策マガジンへの無償交換を呼びかけています。

※対策マガジンは2006年5月より製造しています。

※なお、これまで本不具合に起因する重大事故は発生していません*1。

*1:2013年1月30日現在

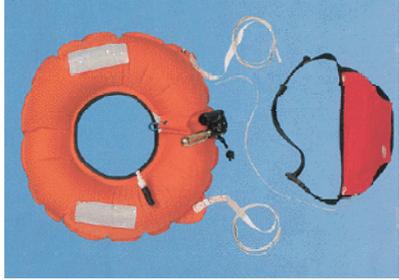
2. 不具合マガジンの判別手順

今回、お客様に照合をお願いするのは、「製品型番:TJW-5型、TJW-7型およびMN型の胴衣に初期装着されたマガジン」、および「2003年7月以降、全品種の胴衣用に交換目的で購入されたマガジン」です。

まず照合の対象となる胴衣の形状を以下にお知らせします。胴衣によっては、「特定の製造ロット」に不具合マガジンが初期装着されているため、「製造番号」との照合が必要になります。これに「該当する胴衣のマガジン」、または「2003年7月以降に交換されたマガジン」が不具合マガジンである可能性があります。

最終的に、マガジン本体に「ロット番号シール」が添付されているかどうかによって、不具合マガジンか対策マガジンかを判別することができます。

3. 照合対象となる胴衣

製品種類	製品型番	製品写真
1) 作業用救命衣 ※小型船舶用救命胴衣の 用件に適するもの	TJW-7 型 (商品名: 夢柔力)	
	TJW-5 型	
2) 小型船舶用救命胴衣	MN 型	
3) 救命胴衣(膨脹式)	TJ-10 型	
4) 作業用救命衣	TJW-3 型 ※形状は TJW-5 型と 同じ(材質が異なる)	

4. マガジン本体について

※マガジンは、通常、胴衣購入後、またはマガジン交換後、「3年」を交換時期として推奨しています。

※当社は2009年4月に同製品の事業を終了しており、現在、マガジンは事業譲渡先*2より供給されています。



*2:アール・エフ・ディー・ジャパン株式会社

5. 不具合マガジンの判別方法

<救命胴衣の照合>

- ・ 全5種類の胴衣のうち、型番TJW-5、TJW-7、MNについては、胴衣に表示されている「製造番号」を下記に示す内容と照合し、該当する胴衣かどうかを判別します。
 - ・ このうち、型番 TJW-5、TJW-7 については、胴衣本体が保護カバーの中に収納されていますので保護カバーを開いて、「製造番号」を照合いただく必要があります。
 - ・ 表示されている項目の中の「型式承認番号」は判別項目ではありません。
 - ・ 必ず「製造番号」を照合いただき、該当する胴衣かどうかを判別下さい。
- ・ 製造番号が該当する場合は、不具合マガジンが初期装着されている可能性があります。
 - ・ 製造番号が該当しない場合、または胴衣の種類が型番 TJ-10、TJW-3 の場合は、不具合マガジンが初期装着されていません。しかし、2003年7月以降に定期交換を目的としてマガジンを購入されている場合は同様に、回収対象の不具合マガジンである可能性があります。

1) 作業用救命衣

製品型番と判別部位(製造番号)	該当製造番号	製造年月
TJW-7型(商品名:夢柔力)	02197 ~ 03726	2003年 6月
	03727 ~ 05447 05832 ~ 05839 05840 ~ 05861 05862 ~ 05881	2003年 7月
	05882 ~ 05961	2003年 9月
	05962 ~ 05981 05982 ~ 05983	2003年 10月
	製造番号、製造年月にかかわらず、2003年7月以降に交換部品としてマガジン単体を購入された場合、シール添付有無の確認が必要。	

製品型番と判別部位(製造番号)	該当製造番号	製造年月
TJW-5 型 	04251 ~ 04496	2003年 7月
	04497 ~ 04646	2003年 8月
	04647 ~ 04746	2003年 9月
	04747 ~ 04846	2003年 11月
2003年7月以降に交換部品としてマガジン単体を購入された場合は、製造番号、製造年月にかかわらず、シール添付有無のご確認をお願い申し上げます。		

2) 小型船舶用救命胴衣

製品型番と判別部位(製造番号)	該当製造番号	製造年月
MN 型 	01551 ~ 01650	2003年 7月
	2003年7月以降に交換部品としてマガジン単体を購入された場合は、製造番号、製造年月にかかわらず、シール添付有無のご確認をお願い申し上げます。	

3) 救命胴衣(膨脹式)

製品型番	製造番号	製造年月
TJ-10 型	2003年7月以降に交換部品としてマガジン単体を購入された場合は、製造番号、製造年月にかかわらず、シール添付有無のご確認をお願い申し上げます。	

4) 作業用救命衣

製品型番	製造番号	製造年月
TJW-3 型	2003年7月以降に交換部品としてマガジン単体を購入された場合は、製造番号、製造年月にかかわらず、シール添付有無のご確認をお願い申し上げます。	

<マガジン本体の確認方法>

- ・ 胴衣本体の製造番号が該当した場合、または、定期交換を目的として2003年7月以降にマガジン本体を単体で購入されていた場合、マガジン底部(金属部分)を確認ください。
- ・ マガジンは自動膨脹装置のボンベとは対照側に収納されています。
- ・ キャップを外して、中からマガジン本体を取り出してください。



- ・ マガジン底部に「ロット番号シール」が貼られている場合は、すでに膨脹遅延不具合の対策処理がされ正常稼働する製品(対策マガジン)ですので、交換の必要はございません。
- ・ マガジン底部に「ロット番号シール」が貼られていない場合は、不具合が起きるマガジンの可能性があります。

6. 交換のご連絡先、本件に関するお問合せ先

上記「3.照合対象となる胴衣」をお持ちの方は、上記「5.不具合マガジンの判別方法」をご確認いただき、該当する胴衣であることが判明した場合、まずは、当社お客様相談室までご一報をお願いいたします。

また、該当する胴衣かどうか分からない場合も同様に、当社お客様相談室までお問合せいただくようお願い申し上げます。

東洋ゴム工業株式会社 お客様相談窓口

0800-300-1456 (フリーダイヤル)

受付時間 9時 ~ 17時 (土・日・祝日を除く)

7. 回収方法

マガジンの交換は下記の方法で行いますので、回収の方法について選択をお願いいたします。

- ① 胴衣を当社送付先(下記)まで「着払い」にて送付いただく。当社にてマガジン交換・胴衣の点検後にご返却いたします。
- ② 当社からマガジンを送付し、お客様でマガジンを交換いただく。併せて、交換されたマガジンを当社送付先(下記)まで「着払い」にて返送いただく。

8. 取扱上の注意

マガジンを分解するとピンが飛び出す可能性があります。**大変危険ですので、お客様によるマガジンの分解は絶対に行わないで下さい。**(※安全に分解するためには専用治具が必要)

9. 該当製品の送付先

該当製品につきましては、「着払い」にて下記(東洋ゴム工業㈱の子会社)までお送りいただきますようお願い申し上げます。

福島ゴム株式会社 品質技術室

住 所: 〒960-0116 福島県福島市宮代字堂前 28
連絡先: TEL. 024-553-1224

10. ご案内

定期交換部品(マガジン・炭酸ガスボンベ)が新たに必要な場合は、下記までご要望いただくように、ご案内申し上げます。

アール・エフ・ディー・ジャパン株式会社

住 所: 〒231-0801 横浜市中区新山下 3-7-24
連絡先: TEL.045-629-0055 FAX.045-629-0057

以 上